

「認知症の日」「認知症月間」に合わせて、出張相談会を開催します(予約不要)

9月21日は「認知症の日」「世界アルツハイマーデー」、9月は「認知症月間」「世界アルツハイマー月間」です。地域包括支援センターでは、専門員による高齢者のための「えんがわ相談会」を開催します。認知症をはじめ、生活や制度についての相談を受け付けます。

えんがわ相談会

- キャニオン 9月毎週(火)
午前9時30分～正午 ※22日(休)は除く
- マルショク泗水店
9月3日(木)・9日(水)・16日(水)・25日(金)
午前9時～正午

高齢者の暮らしを支える

地域包括支援センター

住み慣れた地域で支え合い、全ての高齢者が幸せを実感できるまちを目指して。

問い合わせ・相談先

☎0968(25)7216
本庁舎1階 6番窓口
(高齢支援課内)

3 認知症の人やその家族を見守る応援者になりませんか

周りのちょっとした気遣いがあれば、認知症の人は穏やかに過ごすことができます。

認知症サポーター養成講座

講座を受講することで、誰でもサポーターになることができます。講座の開催日は、広報きくちの「情報つつ」やホームページでお知らせしています。職場や地域での出前講座も可能です。認知症への理解を深めるきっかけとして、講座に参加してみませんか。



認知症サポーターの証である「オレンジリング」。養成講座修了者にお渡ししています

次の養成講座

と き 11月17日(火) 午後2時～3時30分
ところ 本庁舎 204会議室
【申し込み先】 高齢支援課 ☎0968(25)7216

大きなオレンジリング

地域全体でオレンジリングの輪を広げる「大きなオレンジリングまちいっぱい運動」を行っています。⑥のプレートが掲示されている家や店舗などには、認知症サポーターがいます。



4 介護家族の皆さんに、心休まる語らいの場を

日々の介護から少し離れてホッと一息つけるよう、気軽に立ち寄れる交流の場があります

認知症・在宅介護家族のつどい

介護をしている家族が集い、座談会や講座、リフレッシュ活動などを通して、仲間をつくったり、情報共有を行ったりして交流しています。

今回は10月22日(木)午後1時30分から老人福祉センターで開催予定です。9月は「在宅介護者のつどい～リフレッシュ交流会～in七城温泉ドーム」が開催されます(詳細24㉔)。

認知症カフェ(オレンジカフェ)

認知症の人だけでなく、家族や地域の人やさまざまな職種の人などが集い、交流しています。

泗水苑

第3(水) 午後2～4時
☎0968(38)6680

孔子の里

第3(金) 午後2～4時
☎0968(38)5666

5 気になる高齢者を見かけたら

恐れずに、少しの勇気を持って声を掛けることで、救える命があります。

本人の視界に入ってから近付いて、ゆっくりと優しく声を掛けましょう。目線の高さを合わせて、相手の言葉にしっかり耳を傾けてみてください。持ち物で本人の情報が分かったときは、家族に連絡してあげましょう。

戻る場所が分からないなど、対応に困った場合は、警察や地域包括支援センター、または高齢支援課までご連絡ください。

認知症声掛け模擬訓練

11月28日(土) 開催予定

地域でできる支え合いへのきっかけとして、ぜひご参加ください。詳細は広報きくち10月号でお知らせします。



認知症高齢者を支える共生社会とは？

市の高齢化率

34.7%

(令和8年4月現在)

高齢者の約5人に1人が
認知症になると推計



認知症は
病気の一つ

誰もがなる
可能性がある
身近な病気です

みんなが
「わがこと」
として考えて、
行動することが
できれば…

認知症を
正しく理解し、
誰もが
地域で安心して
暮らせる社会

共生社会の実現を目指して、市では次のような取り組みを行っています。

1 高齢者を支える「ほっとネットきくち」

高齢者が安心して暮らせるように、地域全体で見守る環境づくりに取り組んでいます。

菊池市高齢者地域見守りネットワーク

地域包括支援センターでは、地域のさまざまな機関に協力してもらい、高齢者地域見守りネットワーク「ほっとネットきくち」を設立しています。

6月10日には、令和8年度第1回菊池市高齢者地域見守りネットワーク連絡会を開催しました。NPO法人あやの里(熊本市)の濱崎勇太さんが「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり～見守る地域からつながり続ける地域へ～」と題して講話。認知症の人の声を聴いて、本人のやりたいことを実現し、認知症になっても大丈夫と思える社会をみんなでつくっていくことの大切さを学びました。



⑤高齢者地域見守りネットワーク連絡会には約150人が参加
⑥ほっとネットきくちの協力機関に掲示しているステッカー



ほっとネットきくちの3つの心掛け

- ① 日頃から高齢者を「ちょっと気に掛ける」
- ② 心配に感じたら「ちょっと声を掛けてみる」
- ③ 困っている様子であれば「包括に相談する」

2 認知症は早期発見・早期対応が重要

もの忘れやちょっとした変化を「年齢のせい」と思い込まず、早めに相談しましょう。

認知症は、早く見つけて適切な治療を始めれば、症状が軽くなったり、進行を遅らせたりすることができる場合があります。

市では、専門の医師や職員が相談に応じる「もの忘れ相談会」を毎月開催しています。少しでも気になることがあれば、家族だけでも結構ですので、気軽にご相談ください。秘密は厳守します。

もの忘れ相談会(要予約)

と き 毎月第3(木) 午後2時～4時
※9月は17日(木)に開催します(詳細22㉔)
ところ 本庁舎
【申し込み先】 高齢支援課 ☎0968(25)7216